IPNA KYOTO 2027

第２１回国際小児腎臓学会

Nursing Symposium

Advancing Pediatric Kidney Care: Global Perspectives

使用言語：英語・日本語
日本語へのAI翻訳付き



2027年3月11日（木） 10:00–17:30 ｜国立京都国際会館

AI通訳
英語が苦手でも大丈夫！
英語・日本語のAI同時翻訳つき。世界の第一線の看護師の話を、その場で日本語で理解できます。国際学会デビューに最適です。

1日で完結
お休みは1日だけでOK
看護シンポジウムは3月11日（木）の1日のみです。参加費には、ランチ・コーヒーブレイクも含まれます！

国内で国際経験
京都にいながら世界の看護へ
アメリカ・イギリス・香港・カナダから、小児腎臓ケアの第一線で働く看護師・薬剤師・管理栄養士が登壇します。

早期登録
2026年12月1日（火）23：59まで

8,000 円

通常登録　（2月16日まで）8,800 円
当日登録　（2月17日から））9,600 円

プログラム

午前　10:00 – 13:00

小児腎疾患の世界的負担の概観 The Global Burden of Pediatric Kidney Disease
シンポジウム共同企画者
本田　順子（兵庫県立大学）
Jessica Geer , MSN, CPNP-PC, CNN-NP, RN (テキサスこども病院, 米国)





1. **高度看護実践：小児腎疾患**
   Jessica Geer (Texas Children's Hospital, US)
   Hazel Webb & Nicola Townsend (Great Ormond Street Hospital, London, UK)
2. **思春期のセルフケアと治療の自立を支える**
   Minae Fukui（東京大学大学院）
   Fiona Fung-yee Lai, 臨床薬剤師 (Hong Kong Children's Hospital)

午後　14:00 – 17:30

3. **小児腎疾患の移行期ケアの課題**　日本小児看護学会との共催
   座長：冨岡晶子（日本小児看護学会 国際交流委員会委員長）

   演者：豊田千咲（東京女子医科大学）／長順子（東邦大学医療センター大森病院）／栗林佑季（兵庫県立こども病院）／後藤美奈子（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）／John D. Mahan, 医師（The Ohio State University, 米国）

4. **Culturally Sensitive Care ― パネルディスカッション**
   本田順子（兵庫県立大学）／田崎あゆみ（日本福祉大学）／西田幹子（東京都立小児総合医療センター）／Nonnie Polderman（栄養士、BC Children's Hospital, Canada）／Brandy Begin（Doernbecher Children's Hospital, 米国）

参加費に含まれるもの：シンポジウム／ポスターセッション／展示会場／コーヒーブレイク／ランチ

詳細は、学術集会公式サイトにて
www.ipna2027-jp.org